11/27 赤旗

自民、赤字企業から献金

20年政治資金報告 コロナ禍の影響でる中

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの企業や商工業者が減収・赤字を余儀なくされた昨年。自民党側は赤字を計上した大企業からも多額の献金を受け取っていたことが26日、総務省が公表した2020年分の政治資金収支報告書でわかりました。（「政治とカネ」取材班）

➡関連❷・特集❺面

収支報告書によると、自民党は政治資金団体「国民政治協会」（国政協）を通じたものとあわせて23億3831万円の企業・団体献金を20年に集めています。前年の19年は約24億1994万円でした。昨年、新型コロナで経済活動に深刻な影響が出たなか、企業献金は8160万円ほどの減少にとどまり、ほぼ横ばいです。

国政協に献金した大企業では、航空、鉄道、自動車を中心に少なくとも20社が20年度決算で赤字を計上していました。

このうちJR東日本、JR東海はどちらも2000万円ずつ献金しており、19年と同額でした。JR東日本は20年度に、5779億円の赤字を出しています。JR東海も同年度に2015億円の赤字でした。両社とも民営化後、初めての赤字です。

両社とも元は国鉄で、極めて公共性の高い企業です。さらにJR東海はリニア中央新幹線の建設で、3兆円の財政投融資を受けています。これにより同社は低利で長期・固定の資金を確保し、金利上昇リスクを回避できたとしています。政治献金は公的資金が還流した形となります。

本紙の取材にJR東日本は「特定の政党の件についてはお答えできない」とし、JR東海は「回答を差し控える」としています。

（15面につづく）